

森吉山 2021 春

保科勝人

■山行年月日:2021年5月3日～5日

■メンバー:保科勝人、佐藤敏二、
大竹幹衛、佐藤利伊

会津からは遠い北の山である。八甲田、岩木山、八幡平には春スキー等でやってはいるものの何故か八幡平と同緯度のこの山には足を延ばせなかった。それは「若松からだとな交通の便が悪そうだな」との思い込みのせいだがこの思い込みは静寂なこの山の演出に一役かっている気もしている。春スキーは阿仁スキー場のゴンドラを利用すると楽だがゲレンデの雪が消えると運休となり、花のシーズンとなる6月末に再開と言う。ただし運航日程は確認の要あり(今年は4月24日運休、6月再開)。マタギ発祥の地、月の輪熊の縄張りでもある。3日は高速を利用、5日は観光を兼ねた下道のドライブ、野営地は行き当たりばったり、お気軽で肩の凝らない老いらく道中である。

5月4日 天気晴れ後曇 テント場(6:15) コメツガ山荘～ゲレンデ跡～一の腰～森吉神社～阿仁避難小屋～頂上(11:30)

昨夜はコメツガ山荘手前で雪があり、林道わきで夜営。星空の下で天気祭り。

コメツガ山荘は立派な小屋で、避難小屋とあるが開放はしていない。ゲレンデ跡の雪原を登ると一の腰のピークでここからはルート全体が見渡せる。浅い谷を挟み、なだらかな裾野を持つ北面は穏



これから出発です。

やかな雪山である。森吉神社(脇に避難小屋)から先、石森からは標識柱があり地元山守人達の優しさが伺える。頂上に至る雪原裾には阿仁避難小屋もある。



森吉神社と避難小屋

我々を追い抜いて行くのは地元秋田の二人パーティ、単独長靴のご婦人、昼食をとった阿仁避難小屋で休んでいた男女のペア等と多くは無い。さらに営業を終えた阿仁スキー場ルートからも数人が登って来る。

帰路、一の腰ピークで会った単独の老スキーヤーは75歳、GWを利用して八甲田、岩木山、八幡平、を滑り今日森吉に来たという。雪庇脇のスロープを華麗に



もうすぐ・・・

滑って行った。「腰が痛い」と皆に迷惑をかけている私など「まだまだ修行が足りない」と叱られそうな気がした。

下山後は秋田内陸縦貫鉄道「阿仁温泉駅」で温泉浴。清酒「華秋田」「高清水」もちろんビールも補充、国道脇の林道にて夜営。秋田の銘酒と焼酎「いいちこ」と海鮮鍋に酔う。明日は会津に戻る。「安全運転」を誓い、一羽の夜鳥と威嚇し合いながらシュラフに入る。

最終日、沿道はまさしく春の日本の原風景。早朝の角館は武家屋敷を散策し、



山頂！

道の駅で残った食料を消化し 16 時猪苗代着。

追伸 登山は旅だと某探検家が言っていた。国道脇の林道で幕営を楽しむ所など彼の言う旅であるに違いない。コロナ禍の中、自由への長い旅である。



遠い山頂